

平成31/令和元年度 かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会
総会及び特別講演等

次第

日時：令和元年6月20日（木）15時30分～

場所：川崎市産業振興会館 3階会議室

第1部・総会（15：30～15：50）

○ 議題

- 1 平成30年度事業報告及び収支決算報告
- 2 令和元年度事業計画及び収支予算
- 3 役員の就任について

第2部・特別講演発表会（15:50～17：10）

- ・「ドローンの社会実装」について

（発表者）株式会社日本サーキット 代表取締役 酒井哲広氏

- ・さがみロボット産業特区ドローンを利用した二ホンザルの追い払い支援技術の実証評価について

（発表者）地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所
事業化支援部長 櫻井正巳氏

（・その他、協議会からの活動報告）

第3部・懇親会（17:15～）

議案

第1号議案 平成30年度事業及び収支決算報告の件

I 平成30年度事業報告

1. ロボットビジネスに関する情報交流・相談支援事業

(1) セミナー及び会員交流促進事業

○交流会の開催

- ①スマートファクトリー2018 会期中 (5月30日)・展示商談会会場内
- ②通常総会の開催後 (6月22日)・川崎市産業振興会館12階
- ③Japan Robot Weeek2018 会期中 (10月18日)・展示商談会会場内

(2) 会員紹介事業

- 冊子「スマートファクトリー2018 サービスロボットソリューション出展企業ヒアリング報告書」の発行

2. ロボットに関する実用化支援事業

(1) 企業調査 (研究調査)

- 川崎市内企業数社の訪問調査を実施した。

(2) 実用化支援

- 実施について具体的な相談事例はもたらされなかった。

3. ロボットに関する普及啓発・市場創出事業

(1) 商談展示会事業

○次の展示会等への出展及びパネル展示等

- ①スマートファクトリーJAPAN 展へのパネル出展 (5月30日～6月1日、東京ビッグサイト)
- ②Japan Robot Weeek2018・神奈川イノベーションへのパネル出展 (10月17日～19、東京ビッグサイト)

(2) PR活動

- メールマガジン等の配信 (4回、不定期発行)
- 会員からの記事掲載について基準を設け、有料での記事配信について検討したが、実現には至らなかった。

4. その他

(1) 後援・共催等

- 第25回かわさきロボット競技大会の後援
会期：8月25日(土)～26日(日)
会場：川崎市産業振興会館

Ⅱ 平成30年度収支決算報告(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

(単位:円)

科目	予算額	実績額	増減	備考
1 収入の部				
前年度繰越金	69,977	69,977	0	
会費収入	100,000	100,000	0	賛助会員費
事業収入	650,000	545,850	△ 104,150	
特別会費	(200,000)	(156,000)	(△ 44,000)	交流会参加費
負担金	(150,000)	(0)	(△ 150,000)	
広告(広報協力)費	(300,000)	(389,850)	(89,850)	
管理費収入	(0)	(1)	(1)	受け取り利息
収入の部合計	819,977	715,828	△ 104,149	
2 支出の部				
情報交流・相談支援事業	420,000	581,643	161,643	
交流会費	(100,000)	(133,643)	(33,643)	
会場費	(10,000)	(0)	(△ 10,000)	
相談実施費	(10,000)	(0)	(△ 10,000)	
会員PR費	(300,000)	(448,000)	(148,000)	
実用化支援事業	30,000	0	△ 30,000	
研究調査費	(10,000)	(0)	(△ 10,000)	
実用化支援費	(10,000)	(0)	(△ 10,000)	
事務局費	(10,000)	(0)	(△ 10,000)	
普及啓発・市場創出事業	250,000	21,600	△ 228,400	
出展費	(200,000)	(21,600)	(△ 178,400)	
制作費	(30,000)	(0)	(△ 30,000)	
印刷費	(20,000)	(0)	(△ 20,000)	
広告費	(0)	(0)	(0)	
その他	85,000	702	△ 84,298	
通信費	(5,000)	(0)	(△ 5,000)	
WEB関連費	(30,000)	(0)	(△ 30,000)	(ドメイン・サーバー利用料等は翌年度へ)
事務費	(50,000)	(702)	(△ 49,298)	振込手数料(事務所費は翌年度へ)
予備費	34,977	0	△ 34,977	
支出の部合計	819,977	603,945	△ 216,032	
当期収支差額	0	111,883		次期繰越金

本決算書の監査を実施した結果、適正であることを認めます。

令和元年6月11日

監事 酒井 賢二 (印影省略)

議案

第 2 号議題 令和元年度 事業計画案及び収支予算案の件

I 令和元年度 事業計画案

(I) 基本方針

かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会は、ロボットやロボット関連技術を活用したビジネス創出・産業化に向けて、新たなビジネスモデルや安全に関する社会のコンセンサスづくり、産学・産産連携の推進など、ロボットビジネスが成功する環境づくりに取り組む。

(II) 事業内容

1 ロボットビジネスに関する情報交流・相談支援事業

(1) セミナー及び会員交流促進事業

- 公開セミナー及び会員等の交流会を開催する。(年 3 回)

『スマートファクトリー JAPAN2019 (6 月 5 日～7 日、東京ビッグサイト)』等における交流会、及び通常総会 (6 月) における特別講演会を実施する。

(2) 会員紹介事業

- 日刊工業新聞社などとのコラボレーション企画を立ち上げる。

(例えば、会員企業や新製品情報の記事化に関する仲介などの、新サービスを拡大する)

2 ロボット等に関する実用化等支援事業

(1) 企業調査

川崎市内を中心として、企業訪問を実施 (日刊工業新聞社などと同行) するとともに、図書館蔵書管理等における ITC 活用状況等について調査^{※新規}する。

(2) 実用化支援

県の公募型「ロボット実証実験支援事業」及び同重点プロジェクト事業への会員の応募を支援するとともに、会員の取り組みを PR する。

3 ロボットに関する普及啓発・市場創出事業

(1) 商談展示会事業

商談・展示会へのパビリオン出展

【基本】年間 2 回

【候補】①スマートファクトリー JAPAN2019 (6 月 5 日～7 日、東京ビッグサイト)

②国際ロボット展 2019 (12 月 18 日～21 日、東京ビッグサイト)

(2) PR 活動

- メルマガ定期発行 (毎月第 4 水曜日)

記事の充実を図る。

4 その他

(1) 共催・後援事業の拡充

- 川崎市産業振興財団、神奈川県立産業技術総合研究所等との連携強化を図る。

II 令和元年度収支予算案（平成31年4月1日から令和2年3月31日）

（単位：円）

科目	予算額	前年度実績額	増減	備考
1 収入の部				
前期繰越金	111,883	69,977	41,906	
会費収入	100,000	100,000	0	賛助会員費
事業収入	550,000	545,850	4,150	
特別会費	(150,000)	(156,000)	(△ 6,000)	交流・懇親会
負担金	(100,000)	(0)	(100,000)	商談展示会、実証実験に伴うもの
広告(広報協力)費	(300,000)	(389,850)	(△ 89,850)	
管理費収入	(0)	(1)	(△ 1)	受け取り利息
収入の部合計	761,883	715,828	46,056	
2 支出の部				
情報交流・相談支援事業	500,000	581,643	△ 81,643	
交流会費	(130,000)	(133,643)	(△ 3,643)	懇親会開催費
会場費	(10,000)	(0)	(10,000)	
相談実施費	(10,000)	(0)	(10,000)	
会員PR費	(350,000)	(448,000)	(△ 98,000)	
実用化等支援事業	30,000	0	30,000	
研究調査費	(10,000)	(0)	(10,000)	
実用化支援費	(10,000)	(0)	(10,000)	施設使用料等
事務局費	(10,000)	(0)	(10,000)	実証実験ニーズ等のヒアリング
普及啓発・市場創出事業	105,000	21,600	83,400	
出展費	(75,000)	(21,600)	(53,400)	
制作費	(10,000)	(0)	(10,000)	パネル等の作成
印刷費	(20,000)	(0)	(20,000)	協議会PR資料等の作成
広告費	(0)	(0)	(0)	新聞広告等
その他	85,000	702	84,298	
通信費	(5,000)	(0)	(5,000)	
WEB関連費	(30,000)	(0)	(30,000)	ドメイン・サーバー利用等
事務費	(50,000)	(702)	(49,298)	
予備費	41,883	0	41,883	
支出の部合計	761,883	603,945	157,938	
当期収支差額	0	111,883		

議案及び参考事項

第 3 号議題 役員選任の件

役員 7 名中 5 名について、令和元年 6 月 30 日をもって任期が満了いたしますので、役員 5 名の選任（再任：令和元年 6 月 30 日付）を提案します。

また、退任理事 1 名の後任として、理事 1 名の選任（新任）を提案します。

候補者は次のとおりです。なお、新任理事の任期は令和 3 年 6 月 20 日までとなります。

理事（案）

氏名	所属等	備考
岩森 耕太郎	川崎商工会議所 参与	再任（現理事長）
黒田 洋司	明治大学理工学部 教授	再任（現副理事長）
和田 博	ダブル技研株式会社 代表取締役	再任（現副理事長）
藤本 康孝	横浜国立大学 大学院 教授	再任
小川 秀樹	株式会社東芝 参事	再任
林 秀明	初代かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会事務局長 元神奈川県立図書館長 NPO 法人 SOSA 地域活性化センター理事	新任 令和元年 6 月 20 日 就任予定

(退任)

氏名	所属等	備考（役職／任期）
馬来 義弘	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 主席コーディネーター	理事／ 令和 2 年 6 月 30 日

(非改選役員)

氏名	所属等	備考（役職／任期）
酒井 賢二	公益財団法人川崎市産業振興財団 事業推進課長	監事／ 令和 2 年 6 月 22 日

(参考事項)

かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会規約（抜粋）

第 4 章 役員

（種別及び定数）

第 1 1 条

協議会に次の役員を置く。

（1）理事 3 人以上 15 人以下

（2）監事 1 人以上 2 人以下

2 理事のうち、1 人を理事長とし、若干名を副理事長とすることができる。

（選任等）

第 1 2 条

理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

（任期等）

第 1 4 条 役員任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2～3 （略）

4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。